

ラオスから  
看護師さんがやつてきました！



← ICU での研修



## ↑ 手術室での研修



↑日本の文化にも触れました。



↑病棟でのカンファレンスの様子（左から3番目がセンマニーさん）

平成20年11月4日から平成21年2月27日まで、ラオス人民民主共和国のサブリ県病院から看護師さんが当院に研修に来られました。

お名前はセンマニー ケオマーーボン(Sengmany Keomanyvong)でした。ラオスの病院一つ病棟の看護師さんです。センマニーさんは9月上旬に日本に来られ、2ヶ月で日本語を勉強され、日常生活だけでなく、看護師の仕事をする上で必要な日本語をマスターされてきました。研修期間中は看護師の仕事だけでなく、日本の家庭にホームステイされ、日本の文化や風習、そして時にはスキーも体験されていました。

11月から当院に毎日バスで4か月間通勤し、病棟や手術室、救急外来等で看護師の技術や役割・責任などを研修されました。看護に対する熱意・意欲が強く、向学心に溢れ、常に目標を持つて努力されておりました。

当院で研修中センマニーさんは、日本で学んだ知識や技術を帰国後ラオスの病院で広め、看護の質の向上めざしたいとおしゃっていました。

センマニーさんのラオスでの活躍を祈りたいと思います。

11月から当院に毎日バスで4か月間通勤し、病棟や手術室、救急外来等で看護師の技術や役割・責任などを研修されました。看護に対する熱意・意欲が強く、向学心に溢れ、常に目標を持つて努力されておりました。

当院で研修中セントマリーさんは、日本で学んだ知識や技術を帰国後ラオスの病院で広め、看護の質の向上めざしたいとおしゃつておりました。

センマリーさんのラオスでの活躍を祈りたいと思います。

文責  
總務課



↑2005年、ユネスコ世界文化遺産に登録されたルアンバーンの町。その他、南部のワット・ブーには2001年に世界文化遺産に登録されたクメール遺跡がある。



←ラオスの国旗

赤は自由と独立のため  
に流された血、白い丸は  
平和と輝かしい未来の  
展望、青は国家の繁栄と  
豊かな河を表しています

【参考】外務省、日本アセアンセンター